

livio™

livio™ AI

スターキー耳かけ型補聴器

取扱説明書



この度はスターキー耳かけ型補聴器をお選びいただき、誠にありがとうございます。

補聴器をお使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

なお、取扱説明書はお読みいただいた後も大切に保管し、補聴器の使い方がわからなくなった際にご再読ください。

フィッティングサービスの重要性

補聴器はマイクから入力された音を増幅させて出力し、聴力を補う医療機器です。

補聴器は適切なフィッティング調整によりその効果が発揮されます。しかし、装用者のきこえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。

補聴器は装用者に合わせて調整されています。装用者以外の方のご使用はご遠慮ください。



Apple、Appleロゴ、iPhone®、iPad®およびiPod touch®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

1. 安全にお使いいただくために.....	4
2. 各部の名称.....	8
3. 電源の入/切.....	11
4. 電池の交換.....	12
5. 製造番号などの記載事項.....	13
6. 補聴器を装用するには.....	14
7. プッシュボタンの機能.....	16
①音量調節（短押し・長押し）	
②音量調節（ボリュームスプリングラー）	
③ミュート（消音）機能	
④メモリー切り換え	
8. シーズスイッチの機能.....	19
①音量調節（シーズスイッチ仕様）	
②ミュート（消音）機能	
③メモリー切り換え	
9. 補聴器を調整するには.....	21
10. タップコントロール（Livio AIのみ対応）.....	21
11. 電話をかける時は.....	22
●イヤー・トゥ・イヤー（両耳間）機能について	
12. スリープモード（Livio AIのみ対応）.....	22
13. 機器とのペアリングについて.....	23
14. 転倒通知機能（Livio AIのみ対応）.....	24
15. お知らせ音について.....	26
16. お手入れをするには.....	28
●ホワイトワックスガードの交換	
17. おかしいなと思ったら.....	31
18. 販売店様へ.....	33
19. 表示項目等.....	34
医薬品医療機器等法第63条の規定による表示保証について	
電波法適合（技適）表示	

1. 安全にお使いいただくために

警告・注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

ご使用の前によくお読みになり、必ず守ってください。



警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。



警告

- ◆ 補聴器本体や部品、電池を、幼児や精神的に障害のある方、ペットの手の届かないところに保管・管理してください。
- ◆ 補聴器本体を、爆発性の環境に持ち込まないでください。
- ◆ 補聴器本体またはイヤチップなどを誤って飲みこまないように十分注意してください。もし飲み込むような事故があった場合は直ちに医師にご相談ください。
- ◆ この補聴器には無線通信機能が搭載されています。ご使用になる場所で電波を発する電子機器の使用が制限されている場合には指示に従ってください。

- ◆ 他の医療機器あるいは除細動器やペースメーカーなどの埋込型医療機器を着用し、補聴器からの電波干渉等に関する懸念がある場合には、医師または医療機器の製造元にご相談ください。また念のために、これらの埋込型医療機器を着用されている方は補聴器を埋込部分から15cm以上離して使用してください。



注意

- ◆ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中など、高温になりやすい環境に補聴器本体及び電池を長時間置かないでください。
- ◆ MRIスキャンは強い磁力を用いる為、故障の原因になります。MRI室には補聴器を持ち込まないでください。また、レントゲン撮影やCTスキャンなどの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼすため、撮影時には補聴器を外してください。
- ◆ 補聴器を電子レンジで乾かさないでください。内部の電子部品が破壊されてしまいます。
- ◆ 浴室など、湿気の多い場所に補聴器本体及び電池を放置しないでください。
- ◆ 分解、改造などはしないでください。修理の際は、お求めになられた販売店にご相談ください。



注意

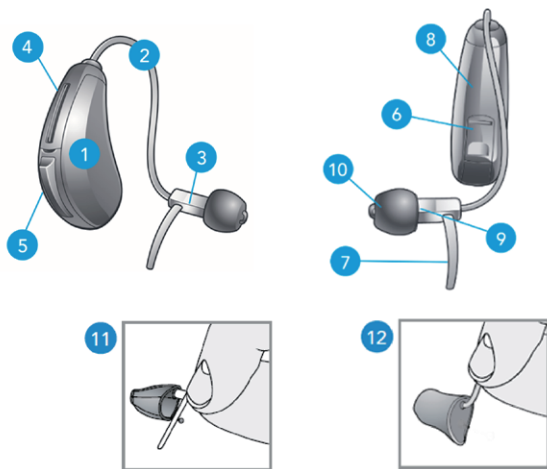
- ◆ 補聴器は再資源化対象ですので、ご不要となった場合はゴミとして捨てず、販売店にお持ちください。
- ◆ 補聴器は常に清潔に保つように使用後の清掃、保管前の清掃をしてください。
- ◆ 次の場合、補聴器を使用しないでください。
 - ・耳を治療中の場合。
 - ・耳の中に痛みがある場合。
 - ・先天的又は外傷による明らかな耳の変形がある場合。
 - ・過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合。
 - ・過去60日以内に急激、又は急速な難聴の進行を生じた経験がある場合。
 - ・過去30日以内に耳鳴りが大きくなった場合。
 - ・急性又は慢性のめまいがある場合。
 - ・耳垢又は異物の集積が明らかな場合。
- ◆ 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
 - ・耳漏が生じたとき。
 - ・耳の治療が必要なとき。
 - ・耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
 - ・耳の皮膚が赤くなったり、痒みや湿疹が生じたとき。
 - ・使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
 - ・補聴器の外観、音質・音量等に異常を感じたとき。
 - ・めまいが生じたとき。

注意

- ◆ 耳の中でホワイトワックスガード等の部品が脱落した場合、販売店又は耳鼻咽喉科の医師にご相談ください。
- ◆ 耳鳴マスカ機能（TRT機能）の使用には医師の処方が必要です。ご使用になる場合、耳鼻咽喉科医師の指示に従ってご使用ください。
- ◆ 耳鳴マスカ機能の使用により、耳鳴りや聞こえが悪化する場合があります。悪化した場合直ちに使用を中止し、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。
- ◆ 補聴器内部を針などのとがったものでつかないでください。
- ◆ 硬い床の上などに落とすと破損する可能性があります。落とすと壊れやすい場所での補聴器の付け外しをしないでください。
- ◆ CROS補聴システムでご使用になられる場合は、専用の送信機が別途必要になります。
- ◆ その他ご不明な点等がございましたら、販売店までご連絡ください。

2. 各部の名称

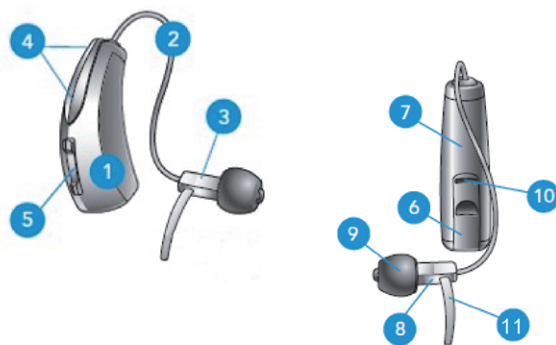
◆ micro RIC312の場合



- ① 補聴器本体
- ② レシーバーケーブル
- ③ レシーバー
- ④ マイク
- ⑤ プッシュボタン
- ⑥ 電池のフタ
- ⑦ リテンション
- ⑧ メーカー名・製品名記載位置
- ⑨ レシーバーの左右の目印
赤：右耳用 青：左耳用
- ⑩ イヤチップ
- ⑪ RIC用イヤモールド（オプション）
- ⑫ シリコンイヤモールド（オプション）

※⑪、⑫はRIC312と共通です。

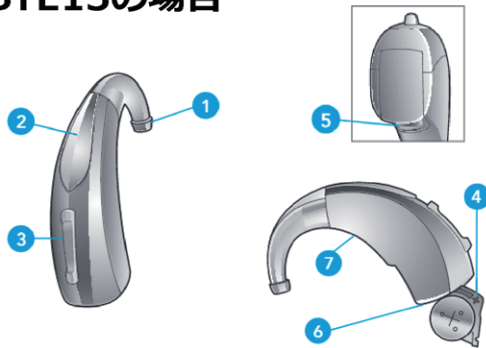
◆ RIC312の場合



- ① 補聴器本体
- ② レシーバーケーブル
- ③ レシーバー
- ④ マイク
- ⑤ シーソースイッチ
- ⑥ 電池のフタ
- ⑦ メーカー名・製品名記載位置
- ⑧ レシーバーの左右の目印
赤：右耳用 青：左耳用
- ⑨ イヤチップ
- ⑩ 補聴器本体の左右の目印
赤：右耳用 青：左耳用
- ⑪ リテンション

3. 電源の入/切

◆BTE13の場合



- 1 イヤフック
- 2 マイク
- 3 シーソースイッチ
- 4 電池のフタ
- 5 左右の目印
赤：右耳用 青：左耳用
- 6 製造番号記載位置
- 7 メーカー名・製品名記載位置

⚠ 注意

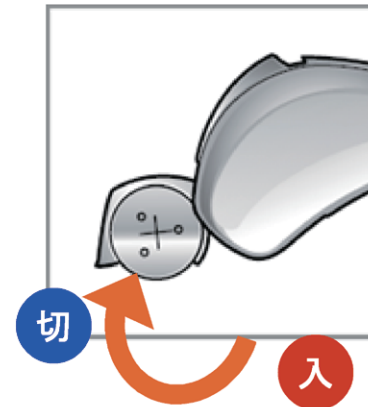
- ◆ 他社製品と組み合わせて使用すると、部品等の脱落の原因となります。弊社純正品のみご使用ください。

電源入

電池を電池のフタに入れ、閉めると電源が入ります。

電源切

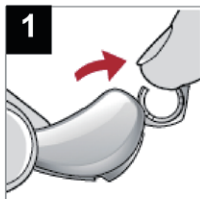
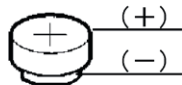
電池のフタを開けると、電源が切れます。



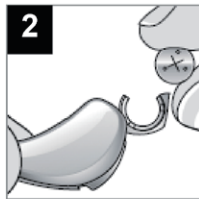
⚠ 注意

- ◆ 電源を入れたままにすると、電池寿命が極端に短くなります。補聴器を使用しない時は、電池のフタを半開きにして電源を切るか、電池を取り外してください。電池を取り外すことで液漏れの対策にもなります。

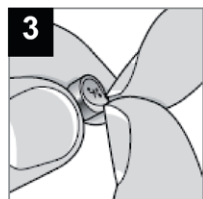
4. 電池の交換



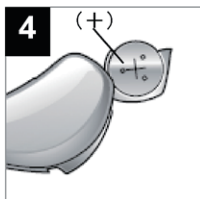
電池のフタに爪をあて、矢印の向きに開きます。



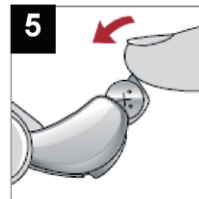
使用済みの電池を取り出します。



未使用の電池のシールをはがします。



電池の (+) 面を上にして入れます。



電池のフタをもとどおりに閉めます。

補聴器	ご使用の電池 / シールの色
microRIC 312、RIC 312	PR41 (312) / 茶色 ●
BTE 13 タイプ	PR48 (13) / オレンジ ●

<電池交換のお知らせ音>

電池電圧が低下すると、電池交換のお知らせ音が鳴ります。お知らせ音が鳴りましたら、できるだけ早く電池を新しいものに取り換えるようにしてください。

⚠ 警告

- ◆ 電池は、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- ◆ 使用済みの電池はゴミとして捨てずに販売店にお持ちください。

⚠ 注意

- ◆ 電池を交換する際には、必ず電池フタに正しくのせてから、電池のフタを閉めてください。電池をフタにのせずに直接本体に入れると、故障の原因になります。

5. 製造番号などの記載事項

- 製造番号 (例: XX-XX XXXXX)



- 補聴器の名前
livio AI または livio

- 製造メーカー名
Starkey

<RICのレシーバー>

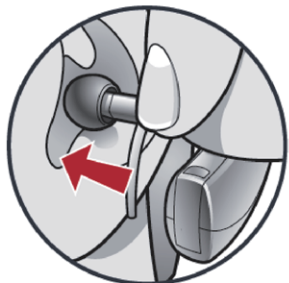


赤 : 右耳用
青 : 左耳用

長さ : 1、2、3、
4、5

6. 補聴器を装用するには

1. イヤチップ



- ① イヤチップを耳の穴に入れます。



- ② 補聴器本体を耳の上に置きます。



- ③ リテンションを耳のくぼみに固定させます。

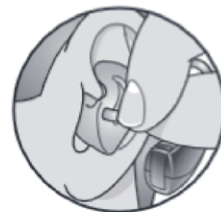


- ④ 装用完了です。

2. イヤモード



- ① イヤモードの付け根側のチューブを持ちます。



- ② イヤモードの先端を耳の穴に入れます。



- ③ イヤモードを後方に回転させます。



- ④ イヤモードを軽く奥に押し込みます。



- ⑤ 本体を耳の上に置きます。



- ⑥ 装用完了です。

7. プッシュボタンの機能

対象 : micro RIC312

プッシュボタンを押す長さによって、音量調節やメモリー変更、ミュート(消音)のオン/オフを行います。

※どのような設定になっているかは、ご購入いただいた販売店にご確認ください。



①音量調節 (短押し・長押し)

大きい



標準



小さい

プッシュボタンを押す時間(長押し・短押し)によって音量の上げ下げを行います。

プッシュボタンを短押しすると音が大きくなり、長押しすると音が小さくなります。

※ 電源を入れた時は、標準の状態です。

※ 長押しで音を大きくし、短押しで音を小さくする設定にすることも可能です。
詳しくは販売店にご相談ください。

②音量調節 (ボリュームスプリンクラー)

大きい (最大)



やや大きい



標準



やや小さい



小さい (最小)

プッシュボタンを押すと音が小さくなり、最小まで来ると今度は大きくなっていきます。

※ 上記とは逆に、プッシュボタンを押すと音が大きくなるような設定にすることも可能です。
詳しくは販売店にご相談ください。

※ 最後に音量調節してから10分以上経過後、再び音量調節する場合、初期位置からの調節と同じ順序で調節を行います。

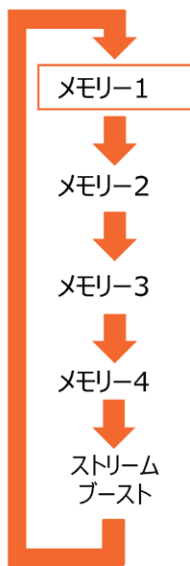
③ミュート (消音) 機能

ミュート機能の搭載されている補聴器の場合、プッシュボタンを長押しすることで、補聴器はミュート状態になります。

ミュートを解除する場合、音声が出るまでプッシュボタンを長押ししてください。

④メモリー切り換え

プッシュボタンを押して、メモリーの設定切り換えを行います。



※電源を入れた時は、メモリー1の状態です。

プッシュボタンを押すと、お知らせ音が鳴って、メモリー2に切り換わります。

プッシュボタンを押すと、お知らせ音が鳴って、メモリー3に切り換わります。

プッシュボタンを押すと、お知らせ音が鳴って、メモリー4に切り換わります。

プッシュボタンを押すと、お知らせ音が鳴って、ストリーミング専用メモリーに切り換わります。

プッシュボタンを押すと、お知らせ音が鳴って、メモリー1に切り換わります。

※メモリー2～4は、無効に設定することができます。
無効に設定しているメモリーは自動的にスキップされます。

⚠ 注意

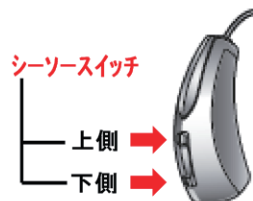
- ◆ 操作ボタン（プッシュボタン）を必要以上に強く押すと、破損することがあります。

8. シーソースイッチの機能

シーソースイッチを押す長さによって、音量調節やメモリー変更、ミュート(消音)のオン/オフを行います。

※どのような設定になっているかは、ご購入いただいた販売店にご確認ください。

※CROS補聴システムでお使いの場合、BiCROS（バイクロス）のみバランス設定が可能になります。



①音量調節（シーソースイッチ仕様）

シーソースイッチの上側を押すと音が大きくなり、下側を押すと音が小さくなります。



※電源を入れた時は、標準の状態です。

②ミュート（消音）機能

ミュート機能の搭載されている補聴器の場合、シーソースイッチの上側・下側関係なく、スイッチの押す長さによってミュートまたはミュート解除ができます。

③メモリー切り換え

シーソースイッチの上側または下側を押してメモリーの設定切り換えを行います。



※電源を入れた時は、メモリー1の状態です。

スイッチの上側を押すと、お知らせ音が鳴って、次のメモリー設定に切り換わります。

スイッチの下側を押すと、お知らせ音が鳴って、1つ前のメモリー設定に切り換わります。

※メモリー2～4は無効に設定することができます。無効に設定しているメモリーは自動的にスキップされます。

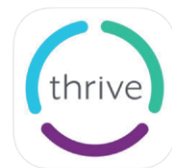
※ストリーム専用メモリー（ストリームブースト）は無効に設定することはできません。メモリー設定はストリームブーストからメモリー1に戻ります。

⚠ 注意

- ◆ 操作ボタン（シーソースイッチ）を必要以上に強く押すと、破損することがあります。

9. 補聴器を調整するには

補聴器の音量調節・メモリー変更は、Livio AI/Livioシリーズ専用のThrive ヒアリング・コントロール アプリを使用して行います。詳しくは、別冊の「Thriveヒアリング・コントロールアプリ簡易ガイド」またはホームページ <https://www.starkeyjp.com/hearing-apps> をご覧ください。



アプリのアイコン

※ 別売のthrivelivioコンもご利用いただけます。



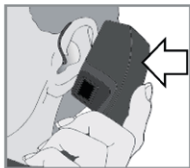
iOS画面例

10. タップコントロール（Livio AIのみ対応）

Livio AI補聴器では、ダブルタップ（耳を2回タップ）して補聴器に内蔵されたセンサーを反応させることで、アクセサリーからストリーミングを開始／停止させたり、アプリのアシスタント機能を立ち上げることができます。この機能をご利用になりたい場合は、販売店に設定していただく必要があります。タップコントロールなど補聴器の操作方法の確認に、25ページの「操作ボタン設定記入表」をご利用ください。



11. 電話をかける時は



受話器を補聴器に近づけると、電話用のメモリーに自動的に切り換えることができます。

※詳しくは販売店にご相談ください。



受話器を補聴器から離すと、通常のメモリーに戻ります。

●イヤードゥイヤード(両耳間)機能について

Livioシリーズには、両耳で電話の音声を聞くことができるイヤードゥイヤード機能が搭載されています(iPhoneや専用アクセサリと連動している場合のみ使用可能)。

詳しくは、販売店にご相談ください。

▲注意

- ◆ コードレス電話、または携帯電話の種類によって機能しない場合があります。

12. スリープモード (Livio AIのみ)

補聴器をテーブルなどの平らな場所に15分以上置いたままにしておくと、補聴器に内蔵されたセンサーが働き、自動的に補聴器をスリープモード(休止した状態)にさせることができます。補聴器を再び耳に装着すると、スリープモードが解除されて作動し始めます。この機能を利用されたい場合は、販売店に設定していただく、またはThriveアプリからも設定することができます。

13. 機器とのペアリングについて

補聴器のBluetooth接続を利用して、スマートフォンや付属アクセサリと連動することで、補聴器へ音声を直接的に流すことができます。これらの機器と連動するには、「ペアリング」という読み込み作業が必要になります。

◆ スマートフォン

補聴器の電源を入れると、スマートフォンに掛かってきた電話の音声を補聴器に流すことができます。補聴器とのペアリングについて詳しくは、別紙の「LivioAI/Livio補聴器をiOS端末/Android端末で操作するには」をご覧ください。

- **iPhone:** 「設定」→「アクセシビリティ」→「ヒアリングデバイス」に進むと、数秒後に一番上の項目に、補聴器名が表示されます。補聴器名をタップするとペアリングの要求メッセージが表示され、「ペアリング」をタップすると、iPhoneと連動できるようになります。
- **アンドロイド端末:** Thriveアプリを直接立ち上げて、アプリから補聴器とのペアリングを行います。一部の対応機種以外は、音声ストリーミングにリモートマイク+ (別売)が必要になります。

◆ リモコン

音量調節やメモリー切り換えなどリモコンから遠隔操作が可能になります。詳しくは、リモコン取扱説明書をご覧ください。

◆ テレビ

TVストリーマーとペアリングして、テレビの音声を補聴器へワイヤレスで流すことができます。ご家族や身近なお友達と一緒にテレビを楽しめるようになります。詳しくは、TVストリーマー取扱説明書をご覧ください。

◆ Bluetooth機器、FM補聴システム、ヒアリングループシステム

リモートマイク+とペアリングすることで、電子機器からの音声や音楽をワイヤレスで楽しむことができます。詳しくは、リモートマイク+取扱説明書をご覧ください。

14. 転倒検出通知機能 (Livio AIのみ対応)

転倒検出通知機能とは、何らかの原因により転倒して助けを呼びたいとき、またはご自身の居場所を知らせたいときなど、連絡を取りたい相手のスマートフォンにショートメッセージで通知する機能です。通知は、転倒が検出された時の自動送信と、補聴器の操作ボタンを長押しして通知する手動送信があります。手動送信では、操作ボタンを再度長押しすることで、通知をキャンセルすることもできます。転倒検出通知が機能する時は、補聴器からお知らせ音が再生されます。

以下の場合、お知らせ音が再生されます。

- ・ 転倒が自動検出された場合
- ・ 転倒通知が手動送信された場合
- ・ 少なくとも通知先の1人が転倒通知を受信した場合
- ・ 補聴器の操作ボタンから通知をキャンセルした場合
- ・ 転倒通知の送信中に生じた通信障害
- ・ 転倒通知のキャンセル中に生じた通信障害

補聴器で再生されるお知らせ音は以下の通りです。

転倒通知の状況	お知らせ音
通知メッセージが通知先へ送信される時	「通知します」
通知メッセージが通知先に受信された時	「送信されました」
通知がキャンセルされた時	「通知をキャンセルします」
通知が通信障害で送信されない時	ビビビ、ビビビ (ピーブ音)

* 本機能を使用されるには、スマートフォンにThriveアプリをダウンロードし、通知の送信先などの設定が必要になります。詳しい設定方法はホームページ別冊の「Thriveヒアリング・コントロールアプリ簡易ガイド」をご覧ください。

操作ボタン設定記入表

	短押し	長押し	短押し (上側)	短押し (下側)	長押し (上側)	長押し (下側)	*ダブルタップ
音量調節							
メモリーの変更							
ミュート							
TRT機能** (耳鳴治療音)							
アクセサリーの 作動/停止							
アクセサリーの 音量							
バランス* (BiCROSのみ)							
転倒通知* (livio AIのみ)							
AIアシスタント* (livio AIのみ)							

* 機種によって対応していない場合があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

**TRT機能 (耳鳴治療音) の使用に関しては、必ず耳鼻科医師の診断が必要です。

15. お知らせ音について

電池交換時期、メモリー切換えなど、補聴器の状態を音声（日本語 / 外国語、男声 / 女声）、チャイム、または電子音（ビープ音）でお知らせすることができます。

メモリー変更の音声でのお知らせ音など、詳しい設定については販売店にご相談ください。

お知らせの内容	日本語 (男声 / 女声)	ビープ音
電池交換 電池を交換してください	ポンポン、電池	パンピンポンパン (チャイム音)
電源オン 電源が入りました	ピンポンパンポン、 チャン (チャイム音)	ポーンポーンポーン
メモリーの変更 メモリーの番号や、設定されたメモリー名に順次切り換わります	メモリー名 (ヒョウジュン、 レストランなど)、 番号 (イチ、ニ、サンなど)	ポン (ポンポン、ポン ポンポン、ポンポン ポン)
ストリームブースト ストリーミング用メモリーに切り替わります	※ビープ音と共通	チャン
コンフォートブースト* 騒音抑制が一時的に有効になります	※ビープ音と共通	タカタカタン
カスタムメモリー* Thriveアプリで作成したメモリーに切り換わります	※ビープ音と共通	トコトコタン
電話 電話メモリーに切り換わります (オートマチックホン)	電話 (デンワ)、 携帯電話 (ケイタイデン ワ)	タタタタン

*ご使用の際には、Thriveアプリが必要です。

お知らせの内容	日本語 (男声 / 女声)	ビープ音
最大音量	※ビープ音と共通	ピッピッピッピッピッ (5回)
音量を上げる (ステップ)	※ビープ音と共通	ピッ
電源入時の音量位置 (標準)	※ビープ音と共通	ピッピッピッ (3回)
音量を下げる (ステップ)	※ビープ音と共通	ピッ
最小音量	※ビープ音と共通	ピー
ミュート (消音)	※ビープ音と共通	ポロロロン
耳鳴治療音の音量調節*	※ビープ音と共通	補聴器音量と同じ
アクセサリーの音量調節*	※ビープ音と共通	補聴器音量と同じ
ストリーミングの開始 アクセサリーやCROS送信機 と接続されている時に有効	※ビープ音と共通	チャン
ストリーミングの停止 CROS送信機と接続されて いる時に有効	※ビープ音と共通	ピープー
通信障害 対応器種のみ	※ビープ音と共通	ビビビ、ビビビ

*補聴器音量のお知らせ音と音質を変更することができます。

16. お手入れをするには

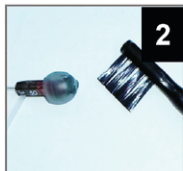
●補聴器本体のお手入れ



1 補聴器本体表面は、汗や水、汚れなどをはじいて付着しにくい撥水加工が施されています。

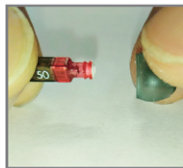
ただし、本体表面に水滴がついたまま、電池交換をすると電池室内部に水が入るなどして、腐食や故障の原因になる場合があります。

水分や汚れが付着した際は、柔らかい布などで、速やかに拭き取って下さい。



2 付属のブラシや綿棒を使い、補聴器本体やイヤチップ、イヤモールド等に付着している耳垢やホコリを取り除いてください。

●イヤチップの取り付け・取り外し



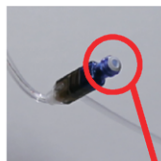
イヤチップをしっかり保持してレシーバーやイヤチューブの根元をしっかりと持ち、ひねらずに真っすぐ抜くと、イヤチップを取り外すことができます。

取り付ける際には、イヤチップをしっかり保持して、レシーバーやイヤチューブの先端を差し込みます。

⚠ 注意

- ◆ イヤチップは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ イヤチップ、イヤモールドには、使用状況によりカビが発生することがあります。こまめにお手入れをお願いします。

●ホワイトワックスガード（耳垢防止）の交換



※ホワイトワックスガード（ワックスガード標準品）はお客様による交換が可能です。

※ホワイトワックスガードを交換する前に、必ずイヤチップを外してください。

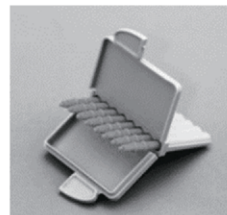
ホワイトワックスガード（耳垢防止）



※先端が金属のメッシュになっています。音が聞こえない・音が小さいなどの場合には、耳垢によって目詰まりをしている可能性がありますので、修理に出す前にホワイトワックスガードを交換してください。



交換用キットのがま口部分を開け、棒を1本取り出します。



交換用キットには8本入っています。



新しいホワイトワックスガード

取り外し側

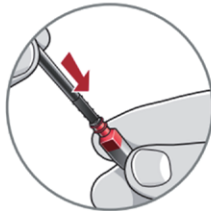
<ワックスガード 取付・取り外し棒>

17. おかしいと思ったら

<手順>



- ① 新しい棒を取り出し、棒の取り外し側を補聴器のレーザー孔に軽く押しこみます。



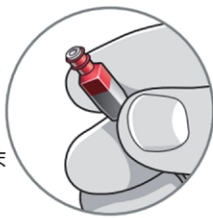
- ② 棒をまっすぐ引き抜きます。



- ③ 棒を180度回転させます。



- ④ 棒の反対側についている新しいワックスガードを、まっすぐ差し込みます。



- ⑤ 棒をまっすぐ引き抜くと、レーザー孔に新しいワックスガードが取り付けられます。

※棒は再利用できませんので、使用後廃棄してください。

※ホワイトワックスガード、棒及び交換用キットのケースは、プラスチックを主体としています。自治体の分別ルールに従い廃棄してください。

⚠ 注意

- ◆ ホワイトワックスガードは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ ワックスガードの淵は補聴器の先端に対して必ず平らになるよう装着して下さい。
- ◆ 装着状態が不安定な場合は外れる恐れがありますので御注意下さい。

補聴器をお使いの際に、音がきこえない、ピーピー音がするなどおかしいと思ったら、修理に出す前に以下の内容をご確認下さい。また、Thriveアプリをご利用されている方は、補聴器の「セルフチェック」もお試ください。

症状	考えられる原因	対処法
音が聞こえない	○電池切れ	○補聴器の電池を新しいものに交換してください。
	●レーザー孔の目詰まり	●レーザー孔を掃除してください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
ピーピー音がる	●補聴器が正しく装着されていない	●取扱説明書の「6. 補聴器を装着するには」をご覧ください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
音が小さい	●電池の消耗	●補聴器の電池を新しいものに交換してください。
	○レーザー孔の目詰まり	○レーザー孔を掃除してください。
	●マイク開口部の目詰まり	●マイク開口部を掃除してください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。

18. 販売店様へ

症状	考えられる原因	対処法
音がとぎれる	● 電池の消耗	● 補聴器の電池を新しいものに交換してください。
	○ 機械的な故障	○ 販売店にご相談ください。
電池交換後、電池のフタが閉まらない	● 電池の極性が逆	● 本取扱説明書の「4. 電池の交換」をご覧になり、正しい向きに入れてください。
	○ 補聴器内に異物	○ 販売店にご相談ください。
	● 機械的な故障	● 販売店にご相談ください。

※ 受信機側補聴器にAP仕様や高出力タイプの補聴器を使用して132dB SPLを超える音圧レベルでフィッティングする場合、残存聴力を害する危険性があるため、ご注意ください。

※ 補聴器の出荷時は、左右の目印が付いていません。インジケータを付けることにより左右の識別が行え、誤使用の防止にもなります。



インジケータ
赤：右耳用
青：左耳用



電池ドアの溝にインジケータを挿入します。

注意

- ◆ 電池のフタを閉める際に、力を入れすぎると破損の原因になります。閉まりにくいと感じたら、電池の向きや補聴器の中に異物が入っていないか確認してみてください。

異物が入っている場合、無理に取り出そうとすると、内部が破損する原因になります。

このような場合には、販売店にお問い合わせください。



挿入後、ねじり取ります。



装着例（右耳）

医薬品医療機器等法第63条の規定による表示

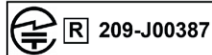
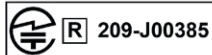
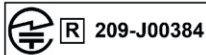
製造販売業者名：スターキージャパン株式会社
住所：神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23
一般的名称：耳かけ型補聴器
販売名：スターキー耳かけ型 3
区別：管理医療機器
製造番号：製品本体
認証番号：231ADBZX00014000

保証について

修理が必要な際には、お買い求めいただいた販売店にお申し付けください。その際、販売店には出来るだけ詳しい状況をご説明いただけますようお願い致します。
また、保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

お買い上げいただいた補聴器の保証書につきましては、内容をよくお読みいただき、無くさないよう大切に保管いただきますようお願い致します。

電波法適合（技適）表示



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....


.....

.....

.....

.....

スターキージャパン株式会社

 0120-045-190



www.starkeyjp.com

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23
第2種医療機器製造販売業許可番号: 14B2X00027
医療機器認証番号 スターキー耳かけ型3: 231ADBZX00014000



MD84856/ISO13485

BKLT0077-01-JJ-JP JPYBK-077